

第2回「ぐんま 街・人・建築 大賞」 応募申込書

①申込日： 2013 年 月 日	②氏 名 (代表者)	フリガナ：	
③所属：	⑤連絡先	担当者	フリガナ：
TEL：			
FAX：			
E-mail：			
④住所：〒			

⑥候補者種別(いずれかを○で囲む)： 個人 ・ 団体 ・ 企業		※⑥が団体・企業の場合に記入	
⑦候補者名	フリガナ：	代表者氏名(フリガナ)：	
		関係者数： 名	
⑧候補者連絡先		⑨貢献分野 種別	I. 発明・開発、教育・研究による貢献
住所：〒			II. ハードな街づくり・建築活動による貢献
TEL： FAX：		※右欄の該当する貢献の番号を○で囲む(複数可)	III. ソフトな街づくり・建築活動による貢献
E-mail：			※裏面の【顕彰対象となる貢献分野と取組み例】を参照のこと
※⑨がⅡ・Ⅲの場合に記入			
⑩候補者が取り組んでいる対象(街や建築等)の名称や所在地(住所や目標物、エリア等を分かり易く)			
名称：		所在地：	
		※案内図を別紙にて作成し、添付してください	
⑪候補者の取組み及び貢献の概要、推薦理由〔取組み開始年(西暦)： 年〕〔取組み期間(合計)： 年〕			
※枠に収まらない場合は別紙を追加してください			

※裏面も参照のこと

第2回「ぐんま 街・人・建築 大賞」募集要項

主催：ぐんま 街・人・建築 顕彰会

後援：群馬県

【顕彰制度の趣旨】

近年の著しい少子化・高齢化という社会構造の大きな変化や情報の高速化・巨大化等による社会情勢の変化は目を見張るものがあります。こうした、社会の大きなうねりのなかで、モノの価値観や生活習慣等についても大きな変革期を迎えており、次世代への文化の継承や技術の伝承などが大きな課題となっています。また、建築界を取り巻く環境も同様に大きく変化しており、街づくりや建築技術・建築文化の担い手の減少により、過去から築き上げられてきた文化や技術が十分活かされず忘れ去られようとしています。

こうした中、例えばいま多くの注目を集めている東京スカイツリーは、1,300年前に建築された法隆寺五重塔の心柱構造を取り入れ、制震構造として地震や台風にも備えた設計となっており、まさに古い技術と現代の最先端技術とが融合し、634メートルという世界一の高さの構造物に進化したものであります。

このように先人が残した多くの文化や技術を学び、そして未来に繋げていくことが今後の社会の発展に大変重要なことと考えます。

この「ぐんま 街・人・建築 顕彰制度」は、私たちのぐんまがこれからも豊かに、創造性あふれる永続的な発展を続けるために、広く街づくり、建築活動に係わる多くの人々に焦点をあて、その取組みに顕彰を行い、ぐんまの発展、さらにわが国の発展に寄与しようとするものです。

【顕彰の仕組み】

ぐんまに係わりのある街づくりや建築活動、そこで貢献されている人々に焦点をあて、建築関係団体のホームページやメディアにより顕彰候補者の募集を行います。応募（自薦・他薦いずれも可）された顕彰候補者の取組みについて、有識者で構成された「顕彰者選考委員会」が審査を行い、最も優れたものを「ぐんま 街・人・建築 大賞」、今後更なる活躍が期待されるものを「ぐんま 街・人・建築 奨励賞」とし、各1点ずつを顕彰します。

【応募要領】

- 1) 応募申込書の①～⑩の該当欄にもれなく記入する。
- 2) 応募申込みは、顕彰候補者の取組み・貢献内容が分かる資料（原則としてA4判以下の紙媒体とすること。不可能な場合は問い合わせてください）を本申込書に添えて、7月1日から**9月30日（当日消印有効）までに**、下記申込み先に郵送してください。
- 3) 貢献分野Ⅱ・Ⅲにおける取組み対象の所在地については、別紙（A4判）により案内図を作成し、申込書に添付してください。
- 4) 応募書類については、お返ししません。
- 5) 他薦の場合、本人の同意を得てから申込んでください。
- 6) 受賞者の発表および顕彰式は、平成26年3月の予定。
- 7) その他、当事業に関する最新情報は当会ブログ（http://blogs.yahoo.co.jp/gunma_mhk_kenshokai2012/）にて随時提供いたします。
- 8) 申込み・問合せ先（問合せはなるべくE-mailでお願いします）
〒371-0816 前橋市上佐鳥町460-1
前橋工科大学 稲見研究室内
「ぐんま 街・人・建築 顕彰会」事務局 宛
E-mail: gunma_mhk_kenshokai2012@ybb.ne.jp
Tel.080-1377-4452 Fax.027-265-7359

【主な審査委員】

- 審査委員長
見城 美枝子（青森大学 教授）
- 審査副委員長
座間 愛知（日本住宅パネル工業協同組合 理事）
田中 麻里（群馬大学 准教授）

【顕彰対象となる貢献分野と取組み例】

顕彰の対象者は、本県を拠点とした街づくりや建築に関する取組みを通じて、ぐんまの生活や文化の向上及び発展に貢献のあった個人・団体・企業等です。参考として、対象となる貢献分野と取組みの例と過去の受賞例を下表に記します。

貢 献 分 野	取 組 み の 例	過去の受賞者例
Ⅰ. 優れた発明・開発、教育・研究等による貢献 街づくり・建築に関する、画期的な技術・製品・システム等の発明や開発、及び教育・研究による貢献。	①建築用材料・製品・工具等の開発 ②建築施工技術等の開発 ③建築設備・省エネ施設等の開発 ④街づくり手法の開発 ⑤優れた人材の育成 ⑥街・建築の歴史に関する研究等	新屋根開拓集団 屋根舞台 (2012年度奨励賞)
Ⅱ. 長年にわたる、或いは優れた、ハードな街づくり・建築活動による貢献 優れた街や建築の創出・維持に関する貢献。	①多くの人々に愛されている建築の設計・施工 ②建築の保存・保全・修復 ③街並みの保存・保全・修復 ④ストリートファニチュアの設計	新屋根開拓集団 屋根舞台 (2012年度奨励賞)
Ⅲ. 長年にわたる、或いは優れた、ソフトな街づくり・建築活動による貢献 街や建築の維持・発展・向上を支援する貢献。	①多くの人々に愛されている建築の維持・管理 ②地域の清掃・美化活動 ③地域の祭り・イベントの企画・運営 ④街並み・景観形成のためのルールづくり	みのわの里のきつねの嫁入り 実行委員会(2012年度大賞)、 ブルーノアウトの会 (2012 年度審査委員長奨励賞)

※「ぐんま 街・人・建築 顕彰会」は、（一社）群馬建築士会、（一社）群馬県建築士事務所協会、（一社）群馬県建築構造設計事務所協会、（一社）群馬県設備設計事務所協会、（公社）日本建築家協会関東甲信越支部群馬地域会、（一社）日本建築学会関東支部群馬支所の6団体で構成される組織です。

※応募申込書は、右記のURLからMicrosoft® Word ファイルでダウンロードできます：http://blogs.yahoo.co.jp/gunma_mhk_kenshokai2012/